

AGU 青山学院大学 NEWS

Vol.
8

AGUニューズ第8号
[2001年7～9月号]

青山学院大学・広報入試センター広報課
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-8111(代表)

URL: <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>



総合研究所ビル(青山キャンパス)

特集

**2000年度就職活動を振り返って
2001年度教員採用試験を終えて
本学大学院への進学について**

TOPICS

国際協力の現場に触れるJICA等の講師による連続講義
第3回AMLオープンフォーラム開催
青学ベンチャー・ネットワーク
経済学部・経済学会共催講演会

報告・お知らせ

2002年度一般入学試験日程
進学相談会開催日程
第8回大学同窓祭
誌上公開講座 Vol.8
—地の塩・世の光—

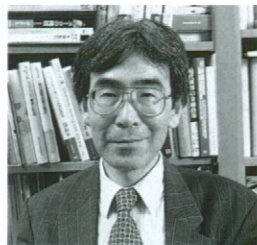
INFORMATION

夏期休業期間中の窓口案内



特集 2000年度就職活動を振り返って

就職協定廃止や長引く景気低迷によって、大学生の就職環境の厳しさはいぜん続いており、その厳しさの質も徐々に変化しているようです。2000年度の本学学生就職活動を振り返りながら、新しい世紀における“大学生の就職”について、中川就職部長（経済学部教授）からの提言をいただきました。



就職部長 中川 辰彦
（経済学部教授）

2000年度就職戦線は、いぜんとして厳しい状況下にありました。わが国の経済が長期にわたるデフレ状況から抜け出せないまま、企業の倒産件数や完全失業率が第2次大戦後の最悪記録を塗り替えた1999年度の大学生の就職戦線は、かつて経験したことのない極めて厳しい状況の下で終始し、他大学と同様、多くの本学学生が大苦戦を余儀なくされました。

しかしながら、相次いで打ち出された日本経済再生のための各種政策の実施、さらに各企業の多大な努力を背景に、このところ新規採用を見送ってきた一部の企業が採用を再開したり、若干でも採用枠を広げるところが出てくるなど、大学生の就職活動の先行きにもいくらか薄明かりが見えてきています。1998年度より人文・社会科学系、理工学系を問わず2年続きの減少であった本学への求人件数も、2000年度は若干増となり、最終的に前年度よりやや増加傾向の就職者数を確保することができました。特に昨年度に引き続き、女子学生の健闘ぶりには目を瞠めるものがありました。これらは何よりもまず学生自身の資質と努力の賜物と評価しています。同時に長年にわたる本学の教育方針の成果が社会的に大きく実を結んでいること、現に企業にあって活躍中の本学出身者が克ち得ている高い信頼と、先輩としての暖かい支援がバックグラウンドにあったことも忘れることができないでしょう。

現在、2001年度就職戦線が既にその真っ只中にあります。近年、超大型外資系企業の日本進出やIT関連の中堅企業の台頭

が目立ち、他大学に率先して国際化教育や高度情報化教育に力を入れている本学の学生にとっては、確実に新しい就職チャンスが生まれてきているようにも思われます。その反面、各企業の採用方針が、ボーダレス時代に即戦力として期待できる、より質の高い人材を求めるという方向に確実にシフトしていることが一層顕著になってきた点が見逃せません。採用枠に関しては新たな広がりが見えてきたものの、採用基準に関しては、厳しさはいっそう増していると考えるべきでしょう。学生の就職活動は前年度にもまして楽観を許さない状況と予想されます。

就職活動とは、いつの世であっても、実社会へのイニシエーションといつてよいでしょう。ですから、企業イメージや妙な思い込みにとらわれないで、自己の適性や知識教養・技量などを考えて活動してほしいのです。単に「御社のために精一杯頑張ります」式の就職活動が通用する時代は終わりました。企業が評価するのは、学生の根性でも、全人格でもありません。利益社会の中で、自分自身が特定の企業にどのようなメリットを与えることができるかをクールに発想し、それを自分の言葉でアピールできるようになることを心がけて欲しいと思います。

生き残りを賭けた企業の合併・統合が相次ぎ、産業構造が大きく変化しているこの時代において、もはや大学生の就職は“人生の最終目標”では無くなっています。女子学生を中心に、まだまだ大手中心の“ブランド志向”が見受けられますが、まず、「一生安泰」に過ごすための就職という考え方を捨て、就職を社会人としてのスタートラインとしてとらえ、3～5年先の自分がどうありたいかを基準に就職というものを考えてみてください。そうすれば、自分を生かして働ける企業が、かえって見つけや

就職者数ランキングベスト20

文・社会科学系				
順位	企業名	2000年度	1999年度	
1	富士銀行	31	24	
2	大和証券	21	9	
3	東京三菱銀行	18	14	
4	三菱信託銀行	13	8	
4	日本生命保険	13	18	
4	日興証券	13	1	
7	野村証券	12	2	
8	さくら銀行	11	4	
9	日本アイ・ビー・エム	10	8	
9	ジェイティービー	10	11	
11	三和銀行	9	10	
11	第一生命保険	9	8	
11	国際証券	9	1	
11	積水ハウス	9	5	
11	東京海上火災保険	9	15	
16	中央三井信託銀行	8	9※	
16	安田生命保険	8	5	
18	住友生命保険	7	8	
18	安田火災海上保険	7	15	
18	ティアイエス(旧 東洋情報システム)	7	4	

※三井信託銀行、中央信託銀行の合計

理工学系				
理工学研究科生を含む				
順位	企業名	2000年度	1999年度	
1	キヤノン	10	13	
1	松下システムエンジニアリング	10	7	
3	ソニー	8	5	
4	日立製作所	7	8	
4	アルファシステムズ	7	3	
6	日本アイ・ビー・エム	6	7	
6	CSK	6	6	
8	本田技研工業	5	5	
8	日本電気	5	4	
8	リコー	5	3	
8	図研	5	1	
12	日産自動車	4	1	
12	NECソフト	4	7	
12	富士ソフトABC	4	3	
12	日本トータル・システム	4	1	
16	味の素	3	0	
16	大正製薬	3	1	
16	東芝	3	1	
16	キヤノン販売	3	1	
16	大和総研	3	1	

すくなるでしょう。

インターネットによる就職活動がすっかり定着している昨今ですが、その一方で少々残念なのが、「ネットで楽して就職しよう」とする傾向がここ数年一部で見られることです。確かに大手企業をはじめ、卒業生によるリクルーター制度が廃止されることにより、企業で活躍するOB・OGに面会することが、即採用に繋がるケースは少なくなっています。しかし、自分の足を使って企業や卒業生にアプローチすることの重要性までなくなったわけではありません。現在、人事採用部門をアウトソーシング(外注化)している企業もあり、このような場合など、たとえメールでエントリーシートを提出しても、志望企業に届かないケースさえあることを考えてほしいと思います。クールに戦略を立てる一方で、タフに行動する。本学学生は、社会からその誠実さが高く評価されていますが、時には「転んでもただでは起きない」強靱な精神力も必要です。社会に出てからの本学卒業生の評価が高いために、これから社会に出ようとする学生の一層の奮起を求めたいと思います。

われわれ就職部としても、常にこうした社会情勢の変化を的確にとらえつつ、できるだけ早いうちから学生に対する就職指導を行い、就職への意識を高めるようにしています。そして現在、これまで培ってきた就職実績と採用企業の確保・拡充に努め、企業の新しい採用方法・基準に適応した独自の就職支援システムを再構築し、社会での活躍を真剣に夢見る多くの学生の期待に応えていけるよう全力を傾けていく所存です。

青山学院大学の就職支援体制

本学では、早い時期から就職部と各学部学科の教員が協力して、就職を希望する学生に対するさまざまな支援活動を展開。1・2年次の「進

2001年度就職関係行事日程

青山キャンパス(3年生向け行事計画)			
行 事	日 程	内 容	
第1回就職ガイダンス 「就職活動のスタートに備えて」	9/26(水) (①と②)	①14:45～15:45 ②16:30～17:30	
	9/29(土) (③)	③12:40～13:40 ※於:青学講堂 3回とも同じ内容です。就職の手引・適性検査の 配付、就職情報誌の申し込み等	
テーマ別セミナー	9月下旬	業界・企業研究 (マスコミ業界の業務内容、採用動向などを解説)	
ミニガイダンス①②	10月初・中旬	就職ガイド (自己分析、企業研究、履歴書、試験についての説明)	
就職セミナーⅠ【講演会】	10月	職業観・自己分析 (自分らしい生き方を考えるきっかけとする)	
就職セミナーⅡ【講演会】	10月	業界・企業研究 (経済状況や企業選択の方法などを解説)	
4年生との懇談会	10月	就職ガイド(就職活動を終えた4年生との懇談会)	
業界セミナー	11～12月	業界・企業研究 (OB・OGから業界の現状、展望、業務内容を聞く)	
テーマ別セミナー	11月	業界・企業研究(外資系、Uターン、女子学生)	
模擬試験【SPI・一般常識】	11・12月	試験対策 (採用試験で多く用いられているSPI、一般常識テストを体験)	
各種対策講座 (エントリーシート(11月)、SPI(12月)、面接(12月))	11～12月	試験対策	
学内企業セミナー	2～3月	業界・企業研究 (企業の採用担当者を引き、学内で実施する企業説明会)	

厚木キャンパス
12月初旬に、公務員ガイダンス、進路・就職相談会を予定。

世田谷キャンパス(理工学部生・理工学研究科生対象)				
行 事	対象者	日 程	時 間	場 所
第1回就職ガイダンス	学部3年生・院1年生	10/ 3 (水)	14:40～16:30	理工講堂
就職適性検査	学部3年生・院1年生	10/10 (水)	14:40～16:30	理工講堂
第1回公務員試験ガイダンス	全学生	10/17 (水)	14:40～16:30	4305教室
東京警視庁説明会	全学生	10/24 (水)	14:40～15:40	4305教室
防衛庁説明会	全学生	10/24 (水)	15:45～16:45	4305教室

※追加、変更等もありますので、掲示板にて必ず確認してください。
※ホームページ(<http://www.aoyama.ac.jp>)に就職関連情報を掲載します。

路について考えるガイダンス」「進路・就職相談会」などを通じて、一人ひとりの興味や適性について考え、将来の進路に合わせた学習計画を意識させることから始めています。理工学部でも2・3年次



学内企業セミナー風景

生に向けた「就職講演会」を開催し、学生に早期の就職対策をアピールしています。

そして、3年次の「就職ガイダンス」から、本格的な就職情報の提供と活動状況に合わせたバックアップを行っています。社会人としての心構えから、自己分析や企業研究の方法、採用状況の説明、OB・OG訪問や面接に関するアドバイス、応募書類の準備やエントリーシートの書き方まで、幅広い情報提供と一人ひとりの学生に応じた実践的な指導を実施。もちろん、インターネット経由で学内もしくは自宅からでも最新の求人情報やセミナー開催情報を即時検索できる体制を整備しています。なお、司法試験や公務員試験などの受験希望者に対しては、ガイダンス以外にもさまざまなゼミナールや集中講座を開催しています。

さらに人文・社会科学系学部の学生に対して、採用する企業側の視点を理解するための講演会や説明会、面接対策セミナーなどを開催し、学生自身が心から満足できる就職に力を注いでいます。学校推薦で応募可能な企業からの求人が多く集まる理工学部の学生に対しても、就職適性検査や講演会、面接対策講座などを実施。その結果、ほとんどの学生が希望に応じた分野への就職を実現させています。

成功する人、失敗する人



就職部事務部長
生井 敏雄

進路のひとつである就職を選ぶということは、生活の糧を得るだけでなく、仕事を通して社会のために役立つということではないでしょうか。

熱心に就職活動をして、失敗する人と成功する人がいるのはなぜでしょう。内定を得た学生は「自分の考えを持って、自分の考えて

いることを話せばいいんだ」ということに気づいています。苦戦している人は「どうすれば通るのか、どこなら受かるのか」に汲々としているようです。うわべだけのアピールで採用担当者はごまかされません。なぜそう考えるのか、なぜそう言えるのか、学生時代の過ごし方や20数年の経験にその裏付けを求めます。目的意識をもって学生生活を過ごすことが大切だということです。

何が出来るのかも問われます。就職活動のため資格を取れ、ということではありません。新入社員がいきなり何かのプロであることは求められませんが、数年間の仕事歴を持つ人であれば、あなたは何が出来ますか、と聞かれることでしょう。自分のスキルを高めるには自分が努力することしかありません。どのような仕事であれプロになりましょう。

現実を踏まえること、将来を見つめること、目的意識を持つこと、精神的に自立すること、これらに真剣に取り組む、つまり「生きる力」を持ってほしいものです。

特集 2001年度教員採用試験を終えて

少子化や情報社会の進行などにより今、大きな転換点を迎えている学校教育の世界。これから教員になろうとする学生には、こうした時代状況を踏まえた心構えと将来計画が求められています。教職課程主任である酒井教授から、学校教員をめざす学生に向けたアドバイスとメッセージをいただきました。



教職課程主任 酒井 豊
(文学部教育学科教授)

本学が明治時代から英語教員の養成で高い実績をあげてきたことは多くの人が知っています。しかしそこで大切なのは、その評価が教科としての英語の指導についてだけでなく、教員としての人格的な影響力とか指導性が大きかったことです。本学の教育理念は、常に「…する人物を養成する」「…をする人間の形成を目的とする」という形をとってきましたが、そこにこめられているのは、本学で培われた人格が社会の中でリーダーシップを発揮し人間形成に資することへの願いだと思えます。

こうしたバックグラウンドによって、これまで本学各学部から、東京都を中心に多くの教員を社会に送り出してきました。本学出身の東京都の公立小学校校長が、国立の東京学芸大学に次いで多いことから、本学が教育界に貢献する実態の一端を窺い知ることができます。本年教員として社会に羽ばたいた多くの卒業生も、おそらくそれぞれの勤務する学校で先輩が活躍する姿を目にしていることでしょう。本学出身の教員が社会から評価されるひとつの理由は、人間理解に優れ、どのような現場の状況に対しても対処できる柔軟性です。子どもたちの痛みや苦しき、悩みを素直に受け止め、いわゆる「学級崩壊」をはじめとする多くの問題を抱える学校教育の現状にも、適切に対応して活躍する卒業生も多いと聞きます。これは、われわれ教員の指導というより、多様な人材が集まる自由な校風と、その中でどのびのびと学んだ卒業生一人ひとりの気質や力量として、高く評価すべきことと考えています。

さて、近年の少子化の進行によって、教員採用の現状はきわめて狭き門である状況が続いていることはご存じの通りです。本学においても、1990年以前に比べて教員採用者数は大きく減少しています。しかし、ここに来て教員志望の学生にとって明るい材料も見えてきました。この5月初旬、東京都における公立小学校の教員数の不足が深刻化していると新聞報道されたことは記憶に新しいと思いますが、事実、今年度の教員採用者数は、当初の予想を超え大幅に増加しました。今後も定年等の退職者の急増や「少人数学級」「複数担任制」の導入など、新しい学校教育の試みが進むことによって、採用数の増加傾向は続き、他の道府県にも波及していくことは確実です。新しい時代に向けた学校教育の「構造改革」が、質量共に教員の充実を求めているこの傾向は、ここ数年は続くと思われ、教員志望者にとってチャンスが到来しています。

教員免許状は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの各学校ごとに、また中学・高校については英語、国語、理科等の各教科ごとに取得します。教職課程は教育職員免許法に従って各学部・学科の教育目的やカリキュラムの特質を生かして運営されますが、本学では、すべ

ての学部・学科の学生がなんらかの教員免許状を取得できるように教員養成課程の充実を図り、文学部教育学科(第二部含む)では、幼稚園と小学校の免許取得も可能です。

私たち教職課程担当スタッフは、教員を志望する学生に対して、1年次からしっかりした学習計画のもとで教職課程関係科目を履修し、各自の特質と目標に応じて早い段階から準備するよう指導しています。そして、教職課程が綿密な指導を行うのは4年次の教育実習まで。その後は、教育実習を通して培った教員としての意識を、学生自身で探求してもらい、採用試験や採用までの道程は個人の意欲に多くを委ねています。決して最後まで手とり足とり世話を焼くことはありません。ひとりで悩み、自分なりに頑張った経験が、教育の現場に立った時の大きな財産になるのですから……。

教師をめざすということは、ひとつの価値ある生き方を選択することです。そのためには学校教育の現状を知るとともに、自分自身を知り、自分がその中で何をすべきかという課題意識と格闘することが絶対に必要です。社会情勢の急激な変化の中で、改めて教育のあり方と内容が厳しく問われている今こそ、人間理解に優れ、柔軟性あふれる本学卒業生が力を発揮できる時代かもしれません。決して平坦な道程ではありませんが、教育への意欲あふれる学生は、臆することなく積極的に教員への道にチャレンジしてもらいたいと思います。

なお、この度教員免許法が改正されたことに伴って、2000年度入学者からは新制度が適用されることになり、各学部・学科で取得できる免許状は現行と少し変更になりました。詳細は学務部教職課程課にお問い合わせください。

2000年度教員免許取得および2001年度教員採用状況 2001.5.1現在

		免許状取得者数				採用者数						合計
		幼、小、中、高				公立学校		私立学校		計		
		一部		二部		一部	二部	一部	二部	一部	二部	
		1種	2種	1種	2種							
幼稚園		24	0	14	1	3	1	6	5	9	6	15
小学校		53	1	27	1	18	6	1	0	19	6	25
養、ろう学校						0	0	0	0	0	0	0
中学校	英 語	82	14	23	0	2	1	5	0	7	1	8
	フランス語	16	0			0		0		0		0
	国 語	41	0	4	0	0	0	1	0	1	0	1
	社 会	32	0	15	0	2	0	0	1	2	1	3
	理 科	16	0			0		0		0		0
	数 学	2	0			0		0		0	0	0
高等学校	英 語	82		23		3	0	6	1	9	1	10
	フランス語	16				0		0		0		0
	国 語	54		4		0	0	0	0	0	0	0
	地理歴史	31		10		1	0	1	0	2	0	2
	公 民	18		13		0	0	0	0	0	0	0
	理 科	16				0		0		0		0
	数 学	2				0		1		1		1
	商 業	2		2		0	0	0	0	0	0	0
	工 業	1				0		0		0		0
計		281		81		29	8	21	7	50	15	65

※免許状取得者数の計は人数計。採用者数は本人からの報告分のみによる。

特集 本学大学院への進学について

近年、社会から大学院卒の学歴を求められることの多い理工学部はもちろん、人文・社会科学系の各学部・学科でも、大学院への進学を希望する学生が増えています。そこで、あらためて、大学院入試に関するアウトラインを紹介しましょう。

本学大学院について

本学大学院には、大学の学部・学科に対応した研究科・専攻が設置されています。各研究科には、修業年限2年の博士前期課程・修士課程(修士の学位取得のための課程)、および修業年限3年の博士後期課程(博士の学位取得のための課程)があります。また、2001年4月に開設した国際マネジメント研究科は独立研究科であり、国際マネジメント専攻修士課程は豊富なキャリアを持つ社会人も対象に経営管理とファイナンスにおける実践的かつ高度な専門教育を行う、わが国の私立大学で初めての専門大学院(ビジネススクール)です。

現在、本学大学院では、文学研究科、経済学研究科、法学研究科、経営学研究科、国際政治経済学研究科、国際マネジメント研究科、理工学研究科の7研究科で約950名もの学生が研究に励んでいます。各研究科での授業は少人数のゼミ形式によるものがほとんどで、マンツーマンに近いクラスも少なくありません。こうした授業のほかに、各人がテーマを見つけ修士論文・博士論文を執筆するために、指導教授のアドバイスを受けながら、研究を進めます。各研究科ごとに院生研究室が設置されており、そこでも研究ができるようになっています。

“社会に開かれた大学院”をめざして

本学大学院は、生涯教育の一環として、“社会に開かれた大学院”の役割を担っています。前述の専門大学院(国際マネジメント研究科・国際マネジメント専攻修士課程)をはじめ、昼夜開講制度を導入している研究科(右表※参照)もあり、平日の昼間における学習が困難な社会人、職業人で向学心あふれる人々、高度職業人をめざす人々に広く勉学できる機会を提供しています。また、フルタイムで大学院生として勉学することが難しい人々のために、少ない時間を活用して、学びたい科目を履修できる科目等履修生の制度も取り入れています。

大学院の入学試験について

文学研究科心理学専攻、経済学研究科、法学研究科、経営学研究科、国際政治経済学研究科、理工学研究科、および国際マネジメント研究



Seminar for Global Classroom

2001年度在籍学生数

博士前期課程・修士課程			
研究科・専攻		院内進学者数	在籍学生数
文学	教育学※	—	22
	心理学※	2	23
	英米文学※	—	36
	フランス文学・語学	—	12
	日本文学・日本語	—	14
	史学	—	22
小計		2	129
経済学	経済学	3	16
法学	私法	2	21
	公法	3	16
	小計	5	37
経営学	経営学※	3	27
理工学	物理学	17	48
	化学	22	54
	機械工学	24	64
	電気電子工学	36	71
	経営工学	8	30
小計		107	267
国際政治経済学	国際政治学※	5	21
	国際経済学※	1	7
	国際ビジネス※	—	134
	国際コミュニケーション※	1	82
小計		7	244
国際マネジメント	国際マネジメント※	6	66
合計		133	786

※在籍学生数には、博士後期課程の人数を含みません。科の博士前期課程・修士課程では、通常の一般入試のほかに本学学生を対象とした「院内進学者選抜試験」を実施しています。一般入試は他大学出身者や社会人など外部の学生も対象にして実施されます。入試時期は10月頃(理工学研究科は9月)、専攻によっては2月頃にも実施します。

飛び級入試・大学院科目特別履修について

優秀な学生に早期の研究機会を提供していくため、経営学研究科、国際政治経済学研究科と国際マネジメント研究科では、いわゆる「飛び級制度」を導入しています。これは、学部3年次修了時点で、学業成績優秀者が大学院に進学できるシステムで、大学進学後5年で修士の学位を取得できます。また、大学院進学予定者に学部4年次生の際に、大学院科目の特別履修を認める「大学院科目特別履修制度」も用意。さらに、研究者をめざす学生は博士後期課程に進学することもできます。

飛び級入試、大学院科目特別履修試験には、それぞれ卒業要件単位(90%以上)と成績基準(G.P.A.2.40~2.50)、外国語要件単位とその成績基準(G.P.A.2.40~2.50)が設けられ、希望者はまずこの条件をクリアする必要があります。

大学院(理工学研究科を除く)に関するお問い合わせは、青山キャンパス総研ビル2階の大学院事務室で受け付けています。また、理工学研究科については、世田谷キャンパス教務課で取り扱っています。いつでもお気軽におたずねください。

国際協力の現場に触れるJICA等の講師による連続講義



国際政治経済学部・国際政治学科
大野昭彦 教授

「地域圏研究各論Ⅰ」
(2001年度前期・3～4年次対象)
私が担当する今年度前期の「地域圏研究各論Ⅰ」は、毎回、国際援助の現場で活躍する方々を迎えてオムニバス形式で行われる授業です。現代の経済学とは「理論」と「実証」の両輪によって成り立っている学問分野ですが、いわばこの講義はそのうち「実証」の部分に相当するものです。

国際政治経済学部の学生に関わらず、近年、NGOや国際機関などで、途上国の開発援助などの仕事に携わりたいという夢を持つ学生が増えているようです。しかし、国際協力の実態についてきちんと把握している学生は、果たしてどれくらいいるのでしょうか。また国際協力というきわめてデリケートな問題に対するしっかりしたフィロソフィー（哲学）を抱えている学生となると、残念ながらほとんどいないのが実状です。この講義はそうした学生に国際協力の生の姿に触れてもらうため開講しました。また、国際協力は、そうした仕事をめざす人たちにだけ関係ある問題ではありません。たとえば、政府のODAに費やされる巨額の税金の使途に対して厳しい目を注ぐことは、国民＝納税者としての大きな義務でもあります。ですから、職業としてではなく、この問題に関心がある学生なら誰でも歓迎しています。

国際協力・援助とは、決してバラ色の世界ではありません。ODAによる開発援助では常にビジネスや政治の論理が介入してくる一方、基本的に人々の善意で成り立っているNGOの活動でも、相手を助けたいという気持ちが、実は異文化の人々にとって多大な負担や迷惑をかけているという例が少なからずあります。

私は長年、インドや東南アジアを中心に経済発展からとり残された地域を回りながら研究を続けており、国際協力事業団（JICA）の活動にも関わってきました。今回の授業の講師は、このJICAのスタッフを中心とした方々に担当していただき、私自身はコーディネーターとしてこの講義の目的と内容、さらに受講にあたっての心構え等

地域圏研究各論Ⅰ（前期）スケジュール

	月日	内容	講師
第1回	4.16	JICAの役割	JICA理事
第2回	4.23	オリエンテーション	大野昭彦 青山学院大学教授
第3回	5.7	JICA事業の概要	JICA鉱工業開発協力部鉱工業開発協力第二課長
第4回	5.14	国際協力の現場から—専門家	JICA総務部広報課長
第5回	5.21	国際協力の現場から—青年海外協力隊	JICA総務部在外事務所課（他に協力隊OB・OG2名）
第6回	5.28	国際協力の現場から—国際緊急援助隊	JICA派遣支援部人材確保課課長代理
第7回	6.4	国際協力の現場から—国連機関	JICA医療協力部医療協力第一課課長代理
第8回	6.11	国際協力の現場から—カナダの援助	JICA医療協力部計画課課長代理
第9回	6.18	国際協力の現場から—NGO	シャプラニール（NGO団体）メンバー
第10回	6.25	国際協力の現場から—国内事業	JICA中国国際センター業務課長
第11回	7.2	JICA事業の今後の展望	JICA国内事業部長



を説明するオリエンテーションのみを行います。JICAスタッフ以外にも青年海外協力隊OB・OGやNGOメンバーも、講師として登場しますし、日本の国際協力だけではなく、国連機関の活動やカナダのODA政策なども紹介されますので、半期の授業を通してグローバルな視点から国際協力というものを理解することができると思います。

受講する学生は、各講師の話に対して「なるほど」と頷いて聞くだけではなく、その内容に疑問を抱いたり、批判的な目を持ってもらえません。むしろ私は、そのようにして学生それぞれが国際援助の現状に対して、なんらかの問題意識を持ってもらうことを期待しています。そうした問題意識の形成を出発点にして、一人ひとりが国際協力に対するフィロソフィーを確立してもらうことが、実はこの講義の最大の目的だからです。

学生に対しては、期間中にレポートを3回提出してもらいます。その際、単に授業の梗概をまとめるのではなく、講師の話を通して得た国際協力・援助に対する自分の考えやフィロソフィーを述べるように求めています。私がなぜこのように“フィロソフィー”ということを繰り返し強調するかと言えば、国際協力・援助に対する確固とした考えがない人は、いざ、現場にたたかれた際、挫折や失望を味わう危険性が高いからです。ビジネスマンや政治家・官僚と渡り合うぎりぎりのネゴシエーション、まったく異なる生活感覚と価値観を持った途上国の人々の社会での暮らしと交流、海外スタッフの活躍を支える国内における膨大かつ地道な仕事……現場での生の声に触れることは、学生が将来を考えるにあたって欠かせないものと考えています。

なお、現在私は、JICAの活動の一環として、ある東南アジアの国の行政担当者と協力しながら、当事国の経済政策等を考える政策支援に協力しています。今後は、建設・土木などのいわゆる“ハコモノ支援”だけでなく、このような“知的支援”ともいえる新しいタイプの国際協力の形もますます増えてくるでしょう。

この講義をきっかけとして、意欲的に国際協力・援助の仕事に取り組むことができる学生が一人でも多く生まれてほしい……それが私の願いです。

第3回AMLオープンフォーラム開催



経営学部
玉木欽也教授

青山学院大学総合研究所の特別プロジェクトとして2000年度から新たに発足した「AMLⅡプロジェクト」によって、5月18日（金）に「第3回オープンフォーラム」が他大学や企業から多くの参加者を得て、開催されました。本プロジェクトがめざす「サイバーキャンパス」とは、教育、研究、企業活動のためのFacility Resources（施設）、Knowledge Resources（知識）、Human Resources（人材）という、優れたResources（資源）を共有するサイバーアライアンス（新しい産官学共同）の場です。このようにAMLⅡプロジェクトでは新しい産官学共同教育方法の姿を追求しています。今後も多くの教育・公的機関や企業と協力し、AOYAMA Media Lab.から、さらなるサイバーアライアンスをめざした「Advanced Media Lab.」への飛躍をめざしています。オープンフォーラムの第1部では、プロジェクトリーダーの玉木欽也教授より

「AMLⅡプロジェクト2001年度推進計画」が発表され、ALIC（先進学習基盤協議会）伊藤健二氏より「eラーニングの普及を目指すALIC」と題して、遠隔教育の国際標準化動向について公演をいただきました。第2部はAMLⅡプロジェクト企画推進室より、「2001年度研究部会の紹介と研究計画」のご紹介を行いました。第3部では、経営学部の田中正郎教授より、「サイバー教育を実践したサイバービジネス演習の成果報告」と題して、新しいビジネス系教育方法の研究成果を本番授業に適用した事例報告や、日本ユニシス株式会社の白井賢一氏より「サイバーキャンパス基盤システム研究部会」の研究報告、文学部の小田光宏助教授より、小中高一貫教育系の「マルチメディア型総合学習研究部会」の研究報告、また理工学部の佐久田博司助教授より「モデルベースラーニング遠隔授業システム研究部会」の研究資料の配布をしていただきました。



「青学ベンチャー・ネットワーク」

この度「青学ベンチャー・ネットワーク」が組織される運びになりました。その設立総会が去る4月10日（火）、青山キャンパスの総研ビルで行われました。設立総会は、約60人の出席を得て、盛大に行われました。その結果、代表幹事に井浦幸雄氏（日本エンジェルズ・フォーラム代表）、副代表幹事に藤田晋（（株）サイバーエージェント代表取締役社長）、竹内利明（（有）陽明エンジニアリング社長）が選ばれ、会の運営にあたることになりました。最高顧問として半田学長、顧問として西澤副学長、辻副学長、林学長補佐、代表顧問として国際政治経済学部 港徹雄教授が就任し、大学との連携をとることになりました。この青学ベンチャー・ネットワークは、ベンチャービジネス、コンサルタント、税理士、弁理士などで活躍している校友の皆さんが中心となって結成した組織で、1) このヒューマンネットを通して企業やベンチャービジネスの活性化を図ると同時に、2) 青山学院の学生の起業家精神育成を支援したり、3) 知的資源の社会的利用促進を支援することを目的としています。



早々に具体的な活動として6月22日（金）、青山キャンパスで「青学発ベンチャー、若き起業家達の挑戦」をテーマに（株）サイバーエージェントの藤田晋氏、ヤフー（株）の川邊健太郎氏を迎えてシンポジウムを開きました。また7月には大学の知的資源の社会的利用に関して会合を持つ予定です。今後ネットワーク内での相互連携を強めると同時に、大学での起業家育成カリキュラムへの支援、TLO設立への支援、インターンシップの受け入れ、就職活動の支援など大学との連携を図っていく予定です。本会は会員を青山学院（幼稚園、初等部、高中部、女子短大、大学）の校友やそのご父母、教職員・元教職員などと広く考えており、皆様の参加を呼びかけています。お問い合わせは園田雅江氏（株式会社YSB取締役sonoda@ysb.co.jp）までお願いいたします。（総務・広報担当 副学長 辻正重 記）

経済学部・経済学会共催

日本郵船株式会社社長 講演会
「統合する力—海を超えて空へ、陸へ。21世紀の国際物流」



経済学部は経済学会と共催で、新学期早々、4月19日（木）4時限目にマルチメディア対応の931教室で今年度第1回の講演会を行いました。講演者はマスコミでもその動静が注目されている日本郵船株式会社社長草刈隆郎氏です。就任間もない多忙の中にある草刈氏がこの講演を快諾されたのは、今年度も経済学部特殊講義の「産業論」のひとつを担当されている郵船OBの石川直義先生のご尽力によるものです。草刈氏は、PCやインターネットによるスマートなプレゼンテーションを活用して、内外の海運業の現状と日本海運・郵船の今日に至る歴史をまず説明し、郵船の活躍の場である昨今の国際物流の特徴が荷主の市場と生産のグローバル化にあるとし、それにはコンテナリゼーションを核とする高度

な物流専門性と情報などのネットワーク対応力の両者を統合する力が問われていることについて事例をあげながら説得的に説明した後、郵船がいまどのような戦略でこの課題に取り組もうとしているかについて講演いたしました。「新世紀宣言」の骨格をなすシナジー戦略とスケール戦略がそれであり、郵船グループ全体で顧客のニーズに応えるべく複合ソリューションを提供することを目指したものである、と紹介されました。最後に学生の質問に答えて、郵船は伝統的企業の悪弊を払拭すべくChange、Challenge、Concentrationを体現できるような少数精鋭の新人教育を1年間雑務につけることなく徹底しておこなう体制を今年からとるので挑戦して欲しい、との激励の言葉で講演会は締めくくられました。（経済学部教授 米澤義衛 記）



英語資格取得自己推薦入試

文学部第二部英米文学科では、2002年度より「英語資格取得者自己推薦入試」を実施します。これは実用英語技能検定準1級以上、またはTOEIC730点以上、TOEFL520点以上(CBTの場合190点以上)のいずれかの資格(成績)を取得している人を対象とする入試制度。入試科目は、「小論文」と「面接」です。

この入試制度は、高い英語力を用いて活躍している社会人の方々に、本学受験・入学を促す目的で導入されます。また、この入試を経て入学した学生が、他の学生に学業面で良い刺激を与え、「英語の青山」という伝統にいつそう磨きをかけてくれるものと期待しています。

詳細は、広報入試センター入試課まで 03-3409-8627(ダイヤルイン)

海外就学経験者入試について

最近の企業における海外赴任者の若年化に伴い、現行の「帰国子女入試」の出願資格に対応できない受験希望者が多数見受けられるようになったことを受け、法学部では「海外就学経験者入試」を2002年度より実施します。

本入試の出願資格は、日本国籍を有するもので、現行の帰国子女入試の出願資格に加え、保護者の海外勤務に伴い海外居住したか否かを問わず、外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上(7年生以上)に就学したものは3年以上、小学校課程(1~6年生)を含むものは4年以上となります。

詳細は、広報入試センター入試課まで 03-3409-8627(ダイヤルイン)

東北学院大学総合定期戦

新緑あふれる6月2日(土)から4日(月)にかけて杜の都仙台の東北学院大学において、第52回東北学院大学総合定期戦が開催されました。

6月2日(土)に行われた仙台一番町商店街における両校応援団・吹奏楽部によるパレードが両校の学長が見守るなか盛大に実施され、多くの仙台市民に歓迎を受けました。引き続き、東北学院大学土樋キャンパスのラーハウザー記念礼拝堂にて開会式が厳粛に挙行され、その前後には柔道をはじめ10種目の試合が行われ、本学が順当に勝利をおさめていきました。

6月3日(日)には広大なグラウンドと校舎のある泉キャンパスを中心にラグビーをはじめ8種目の試合が行われ、各種目とも一進一退の攻防が繰り広げられました。

今回は、17種目が期間内に実施され、各会場では例年にもまして熱戦が繰り広げられました。期間前に行われた種目も合わせると、本学が12勝7敗で優勝し、通算成績は本学が34勝、東北学院大学が18勝となりました。

6月4日(月)には期間内のすべての試合が終了し閉会式が執り行われました。3日間という短い期間ではありましたが両校の選手がぶつかりあい、全力を尽くして母校の名誉と両校の親交のために戦い、両校の信頼関係がさらに深まりました。大学スポーツの更なる充実と発展に寄与したことを実感し、3日間の熱き戦いの幕は閉じました。

2002年度一般入学試験日程

学部・学科・コース・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続日
理工学部 化学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 物理学科 情報テクノロジー学科	2/10(日)	2/17(日)	2/25(月)・26(火)	
	2/11(月)	2/13(水)	2/20(水)	2/27(水)・28(木)
文学部 教育学科(B方式) 英米文学科(A方式) フランス文学科 日本文学科(B方式) 史学科 心理学科(人間主コース) 教育学科(A方式) 英米文学科(B方式) 日本文学科(A方式) 心理学科(夜間主コース)	1/8(火)~1/28(月) 郵送受付に限ります。 (締切日消印有効)	2/13(水)	2/20(水)	2/27(水)・28(木)
	2/14(木)	2/15(金)	2/21(木)	2/27(水)・28(木)
経営学部	1/8(火)~2/1(金) 郵送受付に限ります。 (締切日消印有効)	2/15(金)	2/21(木)	2/27(水)・28(木)
法学部		2/17(日)	2/23(土)	3/1(金)・4(月)
国際政治経済学部		2/18(月)	2/24(日)	3/4(月)・5(火)
経済学部		2/19(火)	2/25(月)	3/5(火)・6(水)
文学部第二部 経済学部第二部 経営学部第二部	郵送受付(締切日消印有効) 1/8(火)~2/15(金) 窓口受付(青山キャンパス) 2/19(火)に限ります。	2/26(火)	3/3(日)	3/11(月)・12(火)

2001年度 進学相談会開催日程

本学では、大学受験を控えた受験生に、青山学院大学に関する情報を提供し、本学への理解を深めてもらうため、5月末から10月中旬にかけて、全国で開催される進学相談会に参加しております。また、受験生を対象とした大学紹介パンフレットをご希望の方は、官製ハガキに「受験生用パンフレット送付希望」と明記し、住所、氏名、電話番号を記入の上、下記までお申し込みください。

大学紹介パンフレットお申し込み先 〒150-8366 青山学院大学広報入試センター広報課(郵便番号のみで届きます)

8/24(金)	旭川	旭川北洋ビル
8/25(土)	札幌	札幌パークホテル
8/27(月)	函館	ベルクラシック函館
9/3(月)	会津若松	会津若松フシントンホテル
9/4(火)	郡山	郡山ビューホテルアネックス
9/5(水)	いわき	いわき平安閣
9/25(火)	仙台	仙台市情報・産業プラザ
9/13(木)	前橋	前橋東急イン
9/14(金)	高崎	高崎サンパレス
9/20(木)	宇都宮	マロニエプラザ
9/26(水)	水戸	県民文化センター
8/17(金)	大宮	大宮ソニックシティ
8/31(金)	横浜	横浜新都市ビル(横浜そごう)
9/1(土)	横浜	横浜新都市ビル(横浜そごう)
9/7(金)	町田	ホテルザ・エルシィ町田
2002/3/30(土)	有楽町	東京国際フォーラム
9/5(水)	松本	ホテルブエナビスタ

9/6(木)	長野	ホテルメトロポリタン長野
9/10(月)	甲府	ベルクラシック甲府
9/11(火)	長岡	パストラル長岡
9/12(水)	新潟	ホテル新潟
9/11(火)	富山	名鉄トヤマホテル
9/12(水)	金沢	金沢全日空ホテル
9/13(木)	福井	福井フェニックスプラザ
9/17(月)	浜松	アクティシティ浜松
9/18(火)	沼津	キラメッセぬまづ
9/19(水)	静岡	ツインメッセ静岡
9/22(土)	名古屋	愛知県体育館
8/31(金)	大阪	大阪城ホール
9/15(土・祝)	広島	広島グリーンアリーナ
9/17(月)	鳥取	鳥取厚生年金会館
9/18(火)	米子	ホテルサンルート米子
9/19(水)	松江	松江東急イン
10/2(火)	下関	海峡メッセ下関

9/11(火)	高知	高知新阪急ホテル
9/12(水)	松山	愛媛県民文化会館
9/13(木)	高松	高松市市民文化センター
9/14(金)	徳島	ホテルクレメント徳島
9/25(火)	熊本	熊本ニュースカイホテル
9/26(水)	久留米	ハイネスホテル久留米
9/27(木)	佐賀	マリトピア
9/28(金)	長崎	長崎プリンスホテル
9/29(土)	福岡	福岡ファッションビル
10/1(月)	北九州	リーガロイヤルホテル小倉
10/3(水)	大分	トキハ会館
10/4(木)	宮崎	MRT micc
10/5(金)	鹿児島	鹿児島サンロイヤルホテル

※8月以降の開催分を掲載しています。

※都合により開催日、会場等が変更になる場合があります。

第8回 大学同窓祭開催 “あの日に会える”

9月23日(祝) 10:00~17:00 青山キャンパス

- 10:30から開会礼拝があります。
- 他に公開講座、法律・税務等無料相談、模擬店・バザー、青山寄席、子どもの広場、福引抽選会、パフォーマンスステージ等があります。
- 18:00からの懇親パーティには渡哲也さんも参加されます。



●和泉元彌 狂言の世界

13:15~14:30 青学講堂

第1部 狂言のお話 第2部 狂言二曲

和泉流二十世宗家 和泉元彌

史上初女性狂言師 和泉淳子

十世 三宅藤九郎(和泉祥子)

お問い合わせ、チケットのお求めは事務局まで(ウェスレーホール内)

青山学院大学同窓祭実行委員会事務局

TEL&FAX 03-3409-8990(直通)

TEL 03-3409-8111(内線11315)

※小学生までと本学院生は入場無料です。

●青学OB・OGフォーラム2001

(経営学部同窓会発足記念)

15:00~17:00 ガウチャー記念礼拝堂

成功への近道は情報と知恵を得ることです。フォーラム2001はあなたにそんな機会を提供します。

1部:講演会 日高義樹氏

「ブッシュ政権の世界戦略が日本に及ぼす影響」

2部:パネルディスカッション

「ベンチャービジネスの魅力と将来の展望」

パネリスト

日高義樹【ワシントンハドソン研究所首席研究員・全米商工会議所顧問】

港 徹雄【青山学院大学国際政経学部教授】

藤田 晋【(株)サイバーエージェント代表取締役社長('97経営学部卒)】

川邊健太郎【ヤフー(株)Everywhereプロデューサー('98法学部卒)】

コーディネーター

中田ひろし【衆議院議員('89経済学部卒)】



公開講座 公開講演会のお知らせ

青山キャンパス

渋谷区共催公開講座 イギリスの文化に親しむ

9/29(土) ●ジェントルマンの歴史 文学部教授 平田 雅博

10/6(土) ●イギリスの教育—歴史・文化の視点から— 文学部教授 池田 稔

10/13(土) ●モダニズム小説の現在—ヴァージニア・ウルフの「ダロウエイ夫人」を例に—
文学部助教授 麻生 えりか

10/20(土) ●音楽と歴史の旅—ロンドン— 文学部助教授 那須 輝彦

10/27(土) ●テレビ政見放送に見るイギリスの政治 国際政治経済学部専任講師 倉松 中

定員:250名

受講資格:どなたでも受講できます。ただし、渋谷区在住、在勤、在学者優先
受講料:無料

時間・会場:15:00~16:30 青山学院大学青山キャンパス1123教室

申込期間:9/3(月)~9/12(水)

申込先:〒150-8010 渋谷区宇田川町1-1(郵便番号のみで届きます)

渋谷区教育委員会社会教育課社会教育係

TEL 03-3463-1234 内線2842~5

申込方法:申込者1名につき1枚の往復はがきに「講座名・氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・性別・年齢・職業」を明記し、郵送してください。申込締切後、受講証を発送します。なお、申込者多数の場合は抽選。

後期 青山学院大学公開講座 世界の演劇を楽しむ

11/10(土) ●ミュージカルの魅力 本学名誉教授 浅田 寛厚

11/17(土) ●シラノとユビウ、または瓦解と創造 文学部教授 中條 忍

11/24(土) ●演劇をつくる—小劇場劇団の現場から— 女子短期大学児童教育学科専任講師 堀切 和雅

12/1(土) ●シェイクスピア—道化について— 文学部教授 手塚喬介

12/8(土) ●ロシア演劇の黄金時代 国際政治経済学部助教授 村田 真一

定員:250名

受講資格:どなたでも受講できます。

受講料:無料

時間・会場:15:00~16:30 青山学院大学青山キャンパス1123教室

申込期間:10/9(火)~10/26(金)(消印有効)

申込先:〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学学務部教務課公開講座担当

TEL 03-3409-8111 内線12278 FAX 03-3409-4575

申込方法:申込者1名につき1枚の往復はがきに「講座名・氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・性別・年齢・職業」を明記し、郵送してください。申込締切後、受講証を発送します。なお、申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。

厚木キャンパス

実験・実習講座 「身近になったe-business」

9/29(土) ●e-businessの現在 10/6(土) ●e-businessを支えるWeb技術

10/13(土) ●Web shop開設の体験演習(1) 10/20(土) ●Web shop開設の体験演習(2)

10/27(土) ●e-business運営実務の基礎

経営学部助教授 竹田 賢・経営学部専任講師 荒木 万寿夫

定員:50名(申込者多数の場合は抽選)

受講資格:中学3年生以上。パソコンを使ってメールやWebを利用したことがある方で全5回を継続受講できる方。

受講料:2,500円(5回分のテキスト代を含みます。初回受講時に納入していただきます。尚、納入された受講料はお返しできませんのでご了承ください。)

時間・会場:13:30~15:30 青山学院大学厚木キャンパス(情報実習室)

申込期間:9/3(月)~9/17(月) 必着

申込先:〒243-0123 神奈川県厚木市森の里青山1-1

青山学院大学厚木事務部庶務課公開講座担当

TEL 046-248-1221 内線32222・32223

申込方法:申込者1名につき1枚の往復はがきに「氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・性別・年齢・職業」を明記し申し込んでください。受付後、受講証を発送します。

公開講演会

福島県郡山市 青山学院大学公開講演会

10/7(日) ●午前の部 ケルトの国アイルランドと日本—遠い国の不思議な関わり—

経営学部教授 九頭見 一士

●午後の部 アジアの政治 国際政治経済学部教授 天児 慧

定員:午前・午後の部各回200名

受講資格:どなたでも受講できます。

受講料:無料

時間・会場:10:30~12:00(午前の部) 13:30~15:00(午後の部) ホテルはまつ

申込期間:9/10(月)~9/22(土)

神奈川県相模原市 青山学院大学公開講演会

10/20(土) ●第一部 盗作と模倣の間に揺れる著作権制度 大学長・法学部教授 半田 正夫

●第二部 福祉とロボット 理工学部教授 井出 英人

定員:第一部・第二部各回180名

受講資格:どなたでも受講できます。

受講料:無料

時間・会場:13:00~14:30(第一部) 15:00~16:30(第二部) ソレイユさがみ

申込期間:9/27(木)~10/10(水)

-----上記講演会申込先-----

申込先:〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学学務部教務課公開講座担当

TEL 03-3409-8111 内線12278 FAX 03-3409-4575

申込方法:往復はがきに「希望講演名(両講演申込可)・氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・年齢・性別・職業」を明記し、郵送してください。申込締切後、受講証を発送します。なお、申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。

地の塩・世の光

深町 正信
青山学院長
国際政治経済学部教授



1936年生まれ。東京神学大学神学部卒業、東京神学大学（神学部）大学院神学専攻修士課程修了、米国デューク大学大学院一年間留学（神学専攻）。銀座教会担任教師、経堂緑岡教会主任担任教師、鳥居坂教会主任担任教師。

フランスのカトリックの作家ベルナノス(1888-1948)は色々な信仰の思想を書いています。代表的な「田舎司祭の日記」という作品(1936)があります。その中で、彼は新約聖書のマタイによる福音書第5章13節の「あなたがたは地の塩である」に関して大変に面白いことを書いていますと指摘する人がいます。彼によれば、主イエスは「あなたがたは地の塩である」と言われたのであって、「あなたがたは地の蜜である」とは言われなかったというのです。本当に「あなたがたは地の塩である」と言われたのであって、「あなたがたは世の蜜である」と間違っても口にされなかったと思います。わたしはその一節がとても名言であると思いました。わたしたちは自らを甘く見がちであり、また、この世というものは蜜でなければならないと錯覚しているところがあります。そして多くの人がお互いにこの世というものは何の問題もないかのように甘い顔をして、ニコニコ笑顔で生活するのが聖書の示す生き方であると思っています。しかしそれは全くの誤解であり、間違った聖書の見方です。

主イエスは確かに「あなたがたは地の塩である」と言われているのです。この場合、イエスは塩という物質の辛く、しょっぱい味をイメージさせます。それが実は聖書の伝えるメッセージの中にあります。つまり地は神の恵みと裁きのもとにあり、蜜のように甘いものでなく、むしろ塩のような味であるということです。わたしたちは塩を口にすると、誰もがまず刺激的で、しょっぱいという反応を示します。

それと同様に、主イエスの恵みは痛みと悔い改めを内に含んでいるのです。主イエスは伝道を開始したとき「神の国は近づいた、悔い改めて、福音を信じなさい」と言われました。この言葉は、譬えて言えば、外科医が病人の重く病んでいるところをメスで摘出するように鋭くその問題の核心を突いてくるのです。その結果、

わたしたちは深く癒されて、新しく出直す力と決意を与えられるのです。そのように聖書が示す地の塩として生きるということは、わたしたちが決して甘い顔をして生きてゆくことでなく、この世を甘く考えて、チャランポランに楽しく生きることでもないのです。この地は、主イエスの十字架による贖いの愛によって、潔められ、癒され、救われなければならないところです。この主イエスの贖罪愛を宿すとき、わたしたちは塩となり他人の心を潔め、まろやかに味付けし、腐敗を防ぎ、人間らしく生きることが出来るのです。

更に、主イエスがここで「あなたがたは地の塩である」、「あなたがたは世の光である」と言われていますが、この二つに共通している点は何か？どちらも自分自身を用いるとき、その効果が外にはっきりと現れることです。地の塩がただ壺の中にしまわれたままでは、何の効果ももたらしません。また、光にしても、闇の中で照らされなければ、その力を存分に発揮することが出来ないということです。光は闇の中に置かれてこそ、光としての力を十分発揮することになるのです。

つまり、地の塩、世の光というのは、それ自身の性質と全く違うものの中に置かれると、その力を存分に発揮するのです。その場合、塩と光とはほんの少し、僅かでよいのです。少量でも、塩は味をつけるのです。また光は闇の中に置かれると、どんなに小さな光であっても、その光は闇の中にいる人々に大きな慰めと希望とを与えるのであります。

主イエスが言われる「あなたがたは地の塩である」とは、わたしたちが主キリストの力を心に宿して、世の唯中に出て行くとき、わたしたちはそこを潔め、味付け、腐敗を防ぎ、保存の役目を果たす働きをなすことになるのです。しかしあなたがたに13節「もし塩のききめがなくなったら、何によってその味が取り戻されようか。もはや何の役にも立たず、ただ外に捨てられ、

人々に踏みつけられるだけである」と厳しく論されています。

塩が効き目を失うということは、少し可笑しいと思う人がいるかと思いますが、古代の塩というのは相当に不純物が混じっていたということです。したがって塩を放置したままにしておくと、直ぐに味が変わり、味が抜けてしまうことがよくあったそうです。

更に、聖書に「また、あかりをつけて、それをますの下に置く者はいない」とあるのは、主イエスの全き愛のみがわたしたちを明るく、力づける本当の愛であり、それを隠す必要が全くないということでもあります。

自分が聖書の言葉によって生きる者となるということは、口にするかしないかは別にして、地の塩、世の光とされて、はっきりとした信仰の旗印のもとに生きることであります。

自分の信仰の灯火を人の目に隠したり、柵の下に置くようなことをすれば、それは光を求めている人に明かりが見えなくなってしまうばかりでなく、柵の中で酸素不足になって、大切な灯火すらきえてしまうことになります。むしろ、外の空気に触れ人の役に立つことによって、酸素が補給され、その光が輝きを増すのであります。

青山学院のスクールモットーはこの聖書を典拠とする「地の塩、世の光」であります。社会にあって地の塩、世の光として生きることが青山学院の目指す教育であります。



夏期休業期間中の窓口案内

夏期休業期間 7/28(土)～9/20(木)
一斉休業期間 8/1(水)～8/7(火)

部 署	窓口事務取扱期間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
青 山 キ ャ ン パ ス	庶 務 課	月～金	9:00～16:00	9/11(火)より平常通り
	教 務 課		9:00～15:30	
	教 職 課 程 課		9:00～15:00	
	学 生 課	月～金	9:00～15:30	資料室は16:00まで
	就 職 課		9:00～16:00(土曜のみ12:00まで)	
	図 書 館	月～土	9:00～19:00(土曜のみ13:00～19:00)	貸出期限の厳守 9/11(火)より平常通り 休館中の本の返却はブックポストに入れてください
	第 二 部 事 務 部	月～金	16:00～19:00	9/11(火)より平常通り
	大 学 院 事 務 室		9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	
	広 報 入 試 セ ン タ ー		9:00～16:00	
	総 合 研 究 所 事 務 室		9:00～19:00	
	情 報 科 学 研 究 セ ン タ ー		9:00～15:30	
	国 際 交 流 セ ン タ ー	火・金	9:00～19:00	11:30～12:30についても窓口事務は行っています 9/21(金)より平常通り
	外 国 語 ラ ボ ラ ト リ ー		9:00～19:00	
	学 生 相 談 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	9/21(金)より平常通り
	保 健 管 理 セ ン タ ー	月～土	9:00～17:00	
	宗 教 セ ン タ ー	月～金	9:00～15:30	9/11(火)より平常通り
		月～金	9:00～15:30, 17:30～20:00	
		月～土	9:00～16:00(土曜のみ11:30まで)	
世 田 谷 キ ャ ン パ ス	宗 教 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	9/21(金)より平常通り
	宗 教 セ ン タ ー	月～金	9:00～17:00	
	庶 務 課	月～金	9:00～16:00	9/11(火)より平常通り
	教 務 課		10:00～15:00	
	学 生 課		10:00～15:00	
	就 職 課	月～金	9:00～15:30	休館中の本の返却はブックポストに入れてください
	図 書 館		9:00～16:30	
	情 報 科 学 研 究 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	※開室日については各窓口の掲示版をご覧ください。 9/11(火)より平常通り
	外 国 語 ラ ボ ラ ト リ ー		9:00～16:00	
	学 生 相 談 セ ン タ ー		9:00～16:00	
	保 健 管 理 セ ン タ ー		9:00～16:00	
	理 工 学 研 究 セ ン タ ー		9:00～16:00	
厚 木 キ ャ ン パ ス	機 械 工 作 室	月～金	9:00～16:00	9/11(火)より平常通り
	先 端 技 術 研 究 開 発 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	
	理 工 学 会	月～金	9:00～16:00	9/11(火)より平常通り
	宗 教 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	
	庶 務 課	月～金	9:00～15:30	9/11(火)より平常通り
	教 務 課		9:00～15:30	
	学 生 課		9:00～15:30	
	万 代 記 念 図 書 館	火・水・金	9:00～15:30	9/11(火)、12(水)は書庫整理のため休館 9/13(木)～20(木)は16:30まで開館 9/21(金)より平常通り
	情 報 科 学 研 究 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	
	国 際 交 流 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	9/11(火)～20(木)9:00～17:00 9/21(金)より平常通り
	外 国 語 ラ ボ ラ ト リ ー	月～金	9:00～16:00	
	学 生 相 談 セ ン タ ー	火・金	9:00～15:30	9/11(火)より平常通り
	保 健 管 理 セ ン タ ー	火・金	9:00～15:30	
	宗 教 セ ン タ ー	月～金	9:00～16:00	※開室日は、窓口の掲示版をご覧ください。 9/11(火)より平常通り

詳細は各キャンパスの掲示版をご覧ください。

大学学費納付について (大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください)

1. 学費振込依頼書発送時期

- (1) 後期振込依頼書発送予定日9月3日(月)【納付期限9月28日(金)】
- (2) 学費振込依頼書は、上記の日程で保証人宛(第二部のみ申し出のあった場合は学生宛)に送付致します。
- (3) 学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数料は無料です。
その他の都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、農業組合等での振込みは、振込手数料が必要になります。

※注意 自動振込機による振込は絶対にしないでください。

(学費納入の確認が不可能のため)

2. 下記事項問い合わせ先 (学費未納等事故防止のため)

- (1) 住所変更(保証人・本人) → 各キャンパスの学生課(学生課)
- (2) 退学希望者 → 第一部は教務課(各キャンパス)
理工学部・第二部は学生課
- (3) 学費振込依頼書紛失 → 経理部出納課
青山キャンパス 03-3409-8111(代表)
厚木キャンパス 046-248-1221(代表)
世田谷キャンパス 03-5384-1111(代表)
- (4) 転部・編入学・再入学学生の学費は、経理部出納課にお問い合わせください。

3. 納付期限の延納を希望する場合は、納入期限までに各キャンパスの学生部または学生課へ願い出てください。

無断で学費を滞納すると除籍になる場合もありますのでご注意ください。

2001年度学費一覧表(入学年度別)

単位:円

年度 学 部		2001年度入学生	2000年度入学生	1999年度入学生	1998年度入学生
		後 期	後 期	後 期	後 期
厚間部	文 学 部				
	経 済 学 部				
	法 学 部	345,000	345,000	330,000	320,000
	経 営 学 部				
	国際政治経済学部				
	理 工 学 部	501,500	501,500	480,000	470,000
第二部	文 学 部				
	経 済 学 部	217,000	214,000	205,000	200,000
	経 営 学 部				

・上記以外に、文学部心理学科夜間主コース・法学部・国際政治経済学部・理工学部の学生で体育実習を履修する者は、体育実習料として3,000円が後期授業料に加算されます。

第二部の学生で体育実習を履修する者は、体育実習料として2,500円が後期授業料に加算されます。

・上記学費一覧表は、転部・編入学・再入学等は除きます。

経理部出納課 03-3409-6479(直通)

高校1・2年生のための新キャンパス説明会

2003年4月に開学する相模原新キャンパスに通学する予定の受験生とご父母を対象に、新キャンパス最新情報をお伝えします。

日時:2001年11月11日(日) 10:00~17:00

(受付は9:45~16:00まで、予約不要、入退場自由)

場所:青山キャンパス

新キャンパス説明会:10:30~、14:00~の2回実施

内容:新キャンパスプレゼンテーション&コンピューター・グラフィックス映像公開
その他の開催内容(10:00~17:00の間、随時実施)

歓迎礼拝/オルガンコンサート/大学ガイダンス/大学紹介ビデオ上映/資料閲覧
/新キャンパスパネル・模型展示/個別進学相談/リスニング試験体験/学生団体
によるアトラクション/資料配付(大学紹介パンフレット、クラブサークル紹介冊子等)



野球場

アリーナ

新キャンパスいよいよ着工へ…

本学では、2003年4月の相模原新キャンパス開学に向け、その利用方法や具体的なプラン作成のために、学内に「新校地基本計画委員会」を設置し、検討を重ねてまいりました。その結果、21世紀にふさわしい新キャンパスの計画を確定し、下記のとおり建設工事を着工する運びとなりました。

新キャンパス関係スケジュール

2001年

- 6月 新キャンパス内既存野球場改修工事着工
- 6月23日(土) 網島総合グラウンド閉所式
- 7月25日(水) 緑が丘グラウンド献納式

相模原新キャンパス鉄入式

- 8月 相模原新キャンパス本体建設工事着工
- 緑が丘グラウンド竣工

11月 新キャンパス内既存野球場改修工事竣工

2003年

- 3月 新キャンパス本体建設工事竣工
- 4月 新キャンパス開学



新キャンパスグラウンドデザイン

東日本地区父母懇談会のお知らせ

東日本地区の3都市において、父母懇談会を開催いたします。対象となるご父母には後日開催通知をお送りいたしますので、是非ともご参加くださいますようお願いいたします。

開催都市	対象地区	開催日	会場
札幌	北海道全域	9月15日(祝)	札幌ガーデンパレス
名古屋	東海3県(愛知・三重・岐阜)	9月24日(祝)	ホテルキャッスルプラザ
仙台	東北6県(青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島)	10月7日(日)	ホテルストロボリタン仙台

校歌を着メロにしませんか?

本校の校章をパソコンや携帯電話の待受画面に、また、校歌を携帯電話の着信メロディーにすることが可能となりました。下記サイトにてダウンロードできますので、どうぞご利用ください。

<http://www.goukaku.gr.jp>

※PC/携帯電話いずれからもアクセスできます。

※i-mode、J-phone、Ez-Webにてご利用いただけます。

※現在、着信メロディーは3和音で作成しています。

※利用者がこれらのサービスを利用するにあたっての課金は一切ありません。

前期終了科目成績通知

前期終了科目の成績通知は、9月中旬以降、学内の学生情報端末にて行います。なお、後期・通年科目の成績通知書は来年3月中旬に保証人住所宛に郵送しますが、卒業決定者については学位授与式当日、学生本人に配付する予定です。

清里サマー・カレッジ

静かな大自然の中にある清里・八ヶ岳寮で、学生と教員が生活を共にしながら、聖書や讃美歌に親しみ、年齢や学部・学科にとら



われずに参加者同士が語り合える機会です。今年度は7月29日(日)~31日(火)、「心のバリアフリー」という主題のもとに開かれます。生きることや愛することなどについて、一緒にじっくりと考えてみましょう。

シリーズ大学探訪

⑦

本多庸一

1848(嘉永元年)青森県生まれ。1872(明治5)年、横浜で受洗。弘前公会(のちの弘前メソジスト教会)を創立し、青森県会議員・議長としても活躍しました。後の渡米を機に教育とキリスト教に生涯を捧げることを決意してドルー神学校に学びました。

1890(明治23)年に帰国、東京英和学校校長(のち青山学院院長)に選任され、その在任中、帝国憲法・教育勅語の発布による国家主義陣営の攻撃に対し、キリスト教主義学校代表の中心として政府との折衝を続け、権利回復に努めました。1907(明治40)年、日本メソジスト教会の創立とともにその初代監督に就任し、日本キリスト教界の中軸として、活動しました。



AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人宛に送付しています。あわせて、本学ホームページには「AGU News on Web」を開設。「AGUニュース」の内容を抜粋して掲載するとともに、

大学のタイムリーなニュースを簡潔な文字情報で週ごとにお知らせする「Weekly AOYAMA」ページも設けております。更に「Weekly AOYAMA」につきましては、2週分のニュースの中から主要な記事を抜粋し、在学生を対象に「AGUニュースレター」として学内専用パンフレットスタンドにて配付しています。

なお、「Weekly AOYAMA」は、7月下旬より大学が夏期休暇期間となるため、しばらくの間更新を休

止いたします。9月下旬より再スタートいたしますので予めご了承ください。

※保証人の方は、お手数ながら本誌を学生へ回付してくださいますようお願いいたします。

AGUニュースのバックナンバーはこちらでご覧ください。

AGU News on Web
<http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>